



# 町田通信

春のご挨拶  
「貯蓄と年収」

for Executives



右の図は、貯蓄現在高と年間収入の推移(1959～2018年)を示したグラフです。

グラフからは、年収がバブル期(1986～1991年)までは右肩上がり、バブル崩壊後は横這い、その後は低減していることが分かります。因みに、1998年には758.4万円だった年収が、2018年には622万円になっています。

一方、貯蓄は、1960年代後半ころまでは概ね年収と同じくらいでしたが、オイルショック(1970年代)のころから増えはじめ、1985年には貯蓄年収比は150%を超え、財テクがブームとなったバブル期には200%を超えるなど、年収増とともに貯蓄も増えていきました。

バブル崩壊後は、年収が低迷する一方、貯蓄は増え続け、2018年の貯蓄年収比は281.7%となりました。

## 「安全運転」

将来に備えて蓄えるのは良いことですが、近年のそれとバブル崩壊前のそれとは、動機やマインドが異なるといわれます。前者が「先行きへの不安」であるのに対して、後者は「成長志向」だったというのです。

これは家計ばかりではなく、近年、内部留保を増やして将来に備えている企業にも同じことがいえそうです。

あまりにも長く続いたデフレ、そしてそれが加速させた感がぬぐえない人口減少(市場縮小)と人口の高齢化の進展、新興経済国の追い上げ。そうした背景を背負っている私たちが安全運転を心がけるのは成り行きであり、グラフはそれを物語っているようでもあります。

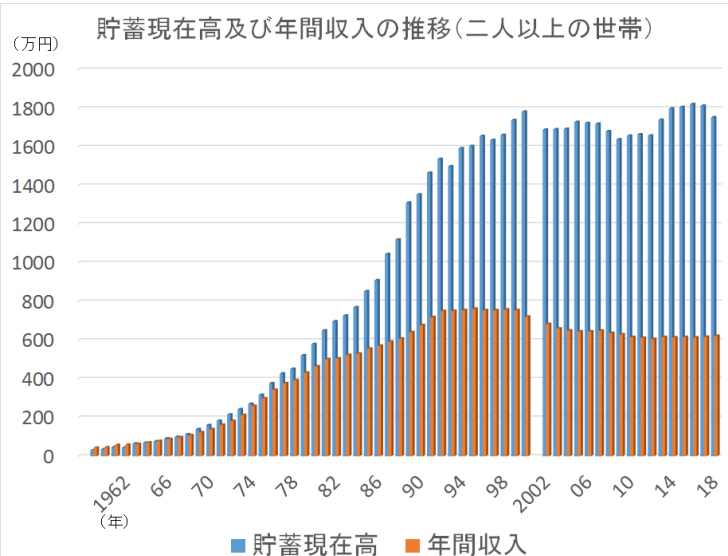
## 「行方」

しかし、気になるのは、やはりこれから描かれるこの先のグラフの形です。

蓄えはどんどん積み増されていくのでしょうか。それとも、蓄えはいずれ老後の生活費として消費され、それが勤労世代の年収になっていくのでしょうか。また、企業などを通じて、私たちや子どもたちの将来への投資に向かうかもしれません。

年収と貯蓄がともに右肩上がりになる展開も、両方とも右肩下がりになる展開も考えられますが、それはほかでもなく、私たち(個人や法人)が今後どのようなビジョンをもって生きていくかにかかっています。将来に希望をもって今を邁進すれば、グラフが描く軌跡はきっとそれを反映したものになってくるはずですよ。

ひとりひとりのマインドが、将来に向かって夢を持てる、目標に向かってがむしゃらに今を生きることができるよう、ファイナンシャルプランニングの観点からサポートするのは私たちの使命のひとつです。ご一緒にこのグラフの将来の軌跡を描き出していきましょう。



(出典)家計調査報告(貯蓄・負債編)－2018年(平成30年)平均結果－(二人以上の世帯)＜参考1-1＞長期時系列(二人以上の世帯の貯蓄の推移)(総務省統計局)(注)1959年から2000年までは貯蓄動向調査の結果であり、2002年以降は家計調査(貯蓄・負債編)の結果です。

ソニー生命保険株式会社 新宿ライフプランナーセンター第4支社

エグゼクティブ ライフプランナー 町田 信行

住所変更などはありませんか。近況の変化やご要望、ご質問などございましたら私(裏面)までご連絡ください。また、私がお役に立ちそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介いただけますようよろしくお願いいたします。



## フランス VS イギリス

今回は、時々私たちの頭を悩ませるテーブルマナーについて、その歴史をすこし紐解いてみたいと思います。

### 「手食文化」

16世紀、イタリアの名家・メディチ家のカトリーヌがフランスの王家に嫁ぎます。その当時、フランスは貴族でさえ食卓の肉や魚の塊を手づかみで食べるなど、テーブルマナーは(当時のメディチ家からみると)野蛮だったようです。

妃に同行してイタリアからやってきたシェフは、その光景を目の当たりにして驚き、フォークの使い方などを指南した本格的なテーブルマナー専門書『食事作法の50則』を作ったと伝わります。

その後、フランスはテーブルマナーにおいてヨーロッパを長くりードすることになるのですが、やがて、当時フランスと対立していたイギリスがフランスに対抗して独自のテーブルマナーを生み出します。

相反するマナーの話を目にして、私たちが混乱することがあるのは、実はここにひとつの理由があるのです。

### 「フランスとイギリスの違い」

代表的な違いをいくつか見てみましょう。

まず、フォークの使い方です。フォークでさしづらい食べ物の場合、フランスではフォークの腹にのせて食べます。一方、イギリスでは、フォークの背にのせて食べます。

ライスをフォークの背にのせて食べるかたがいらっしゃいますが、これはイギリス式の影響かもしれません。ちな

(寄稿)茂木 ゆみ・国内航空会社で、皇族、国会議員、大手企業トップ等のVIP 接遇を4万回以上経験。現在、マナー講師として活躍中。

みに、イギリスにもフランスにもライスの食べ方についての正式なマナーはありません。

そして、スープは、フランスが奥から手前にすくうのに対して、イギリスは手前から奥にすくいます。

食事が終わった後のナイフとフォークは、フランスでは3時の方向に向けて、イギリスでは6時の方向に向けて置きます。

### 「日本では」

明治時代に西洋文化が日本に伝来した際、宮内庁はイギリス式のテーブルマナーを採用しました。そのため、その後の日本ではイギリス式のテーブルマナーが主流になります。

しかし、最近ではフランス料理の普及とともに、フランス式のテーブルマナーが広く知られるようになり、現在は両方が混在しているという状況です。

ちなみに、皇室や日本の公式行事では、現在でもイギリス式のマナーが用いられているそうです。

### 「最古」

食事のマナーについて書かれたもののなかで最も古いものは、紀元前の古代エジプトのものだといわれます。

そこには、人々と一緒に食事をするときは目上の人に従う、皆が笑うときは一緒に笑う、食事の席では自己主張をしないなど、一緒に食事をする相手に対する配慮などが指南されているそうです。

## こんな時にご連絡ください

皆さまのライフプランや事業プランをお守りするために、次のようなときは、私にご連絡ください。

#### ●各種手続きや保障内容の見直しなど

- 保険金・給付金等の請求手続きが必要
- 入院／手術／退院(含予定)
- 災害や事故などに遭遇(または心配)
- ご結婚／ご出産／入進学／転居(含予定)
- 昇進／転勤／転職／起業(含予定)
- 年金／相続／介護について相談したい

- 保障内容を確認／見直したい
- 紹介して欲しい人／提供して欲しい情報がある
- 紹介したい人がいる
- 事業拡大や事業承継のご計画(法人様)
- 福利厚生制度／役員の方の保障のご相談(法人様)
- 企業のリスク洗い出しのご相談(法人様)

#### ●その他

疑問やご不安に感じていらっしゃることはございませんか。近況なども気軽にお聞かせいただければ幸いです。

#### (差出人・連絡先)

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンター第4支社

エグゼクティブ ライフプランナー

町田 信行

掲載内容等に関するお問い合わせは私まで。

〒151-0053

渋谷区代々木 2-1-5

JR 南新宿ビル 18F

TEL: 03-5358-1704 FAX: 03-5358-1724

携帯: 090-3681-3416

メール: NOBUYUKI\_MACHIDA@sonylife.co.jp

http://2way.ne.jp/SL/MachidaNobuyuki/

